



華麗なる図書館利用者のための

Cool Librar

クールリブラー

講座

カジのうら若き青春黙示録

文 / カジ

クールリブラーカジ、大いにやらかす!

「華麗なる図書館利用者のためのクールリブラー」という大それたタイトルのこのコラム。その作者であるカジは当然『華麗なる図書館利用者』でなければならぬのだが、先日全くクールでないことをやってしまったので、ここで告白し、懺悔したいと思う。実は数ヶ月前、名古屋にある某調査会社に出向し、1ヶ月におよぶ研修を受けていた。研修中の課題のひとつに自分でテーマを設定してレポートを書きあげるといったものがあった。調査会社なので、社内の資料室にも膨大な資料があり、それらを参考にしつつレポートを作成するわけのだが、そこにもないような堅い文章は図書館で借りてきなさいとのこと。語尾に「なのな」とか絶対使っちゃいけないような堅い文章が大の苦手なカジは、予想通り早い段階でレポート作成にいきづまる。どうやら資料も社内にはなさそうだったので、会社から一番近い愛知県図書館に行くことに。図書館に着くと、館内にある図書検索機能を駆使し、お目当ての本数冊をゲット!それから10日ほどかけ、なんとおかしなレポートも完成。ただ、それで終わりでなく、研修の最終日には、作成したレポートの発表会が待ち構えている。普段、講演などで数百人を前にお話をされるその会社の研究員さんたちを前に、自分のショボレポートを発表しなければならぬのだ。このプレッシャーたるや、スーパーのレジで財布を見たら思いのほか所持金が少なくて「ああやべえ、金足りんかも」とレジの合計金額とにらめっこして居るそれとは訳が違う!だって、みんなしれっとした目で見てるんだもん。だが、ここは腐ってもクールリブラーのカジ、ここいらでひて笑いふた笑い取って、1ヶ月の研修の爪痕を残さなければと覚悟を決める。純然たる「なのな調」はさすがにできないまでも、「弱なのな調」と「はい、その結果ドン!」的な芸人風のしゃべりで攻めたりしましたわ。そして無事にプレゼン終了。笑いもそこそこ取れ、そこそこの充実感に満たされ研修終了。あ、文字が足りない。続きは次回。

【前回までのあらすじ】
まさかまさかの展開で、学園のマドンナ千絵ちゃんからのバレンタインチョコをゲットしたカジ少年。本当はここで物語を終え、ハッピーエンドでさようならにしたところなのだが、そももいかないのが人生だ。最大の山場を越え、もはや盛り上がる場面はないとあえて断言しよう。なので、この後は情性で読んでいただいて結構。そもそもこんなマイナー読み物を本気で読んでいる人もいないだろうし、何より筆者本人も今まさにベッドで横になりながら、実に適当にこの文章を書き綴っている。

本文、サブ文とも文字が足りなくなる 斬新なシステムに初挑戦!

人生で一番幸せな2月14日を経験し、それからしばらくはフワフワ浮いているような日々を過ごしていたカジ少年。その先に見据えるは、ひと月後の3月14日、言わずと知れたホワイトデーだ。正直どのあたりが「ホワイト」なのかわからないが、意中の子からチョコを買えた男子にとっては、とつてもとつても大切な日であり、大好きな千絵ちゃんからチョコを買えたという事実は、カジ少年をどうしようもないほどに有頂天にさせていた。が、同時に新たな疑問が生じていたこともまた事実。

「果たしてこれは本命チョコなのか?」

数ヶ月前の「うっかり女子の交換日記を読んだばかりに、千絵ちゃんに彼氏がいることがわかり絶望に陥る事件」では、うっかり女子の交換日記を読んだばかりに、千絵ちゃんに彼氏がいることがわかり絶望に陥るといふ苦い経験をしたカジ少年。その後、千絵ちゃんに彼氏と別れたという話は自分の耳には入っていないし、隣の家のおばちゃんのお耳にももちろん入ってなかった。あ、文字が足りない。続きは次回。

